

第175回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

令和2年6月

日時: 2020年6月26日(金) 14:00-16:30 場所: 横浜市青少年育成センター 第1研修室

◆ 主催: 防災塾・だるま 総括運営: 鷺山 総合司会: 山田(美) 記録: 田中(晃)

◆ 会議形式: 新型コロナウイルス蔓延時であり、リモート併用の会議システムを試行した

◆ 談義の会参加者: 会員25名 (会場12名、ZOOM: 13名+会場Zoom5名) (敬称略)

ZOOM参加 荻本、上原、落合、江上、釜石、小林、田中(栄)、玉井、増田、吉開、松村、森、渡邊(秀)

会場参加 稲垣、佐々木、高松、田中(晃)、田中(喜)、中島、長嶋、早川、福田、樋口、山田(美)、鷺山

話題: 阪神淡路大震災25年『被災地訪問報告』2020年1月15日~17日

発表者: 防災塾・だるまの会員7名

荻本塾長 開会挨拶 (ZOOMで)

コロナ禍で「防災塾・だるま」の活動も自粛してきましたが、本日インターネットを利用して新しい活動がスタートしました。不自由な生活を強いられるなか、最近お会いできていなかった方々とも交流でき嬉しく思っています。コロナ禍によって得られた新しい革新のようですし、本日の会を有意義にし、今後に繋げたいと思います。



会場と自宅で発表



- 広島 呉の被災地調査(荻本、落合、高松) *荻本先生が操作
広島県安芸郡坂町: 2018年6/28~7/8 台風7号と梅雨前線で発生した集中豪雨の現地調査
総頭川と大判川合流付近では、斜面崩壊で土砂・土石流が流路を塞ぎ堰堤の石積みが崩壊した
中流部では、川の流れによって被害差あり、土石流の被害で床上浸水や石門、堰が崩れている
 - 倉敷真備の被害現場訪問(稲垣) *鷺山さんがリモート操作(以下同じ)
西日本豪雨(2018.7)、3河川6箇所で堤防決壊、浸水面積1200ha、浸水家屋4600戸
死者51人(内家屋内42名、災害弱者は36名) なお屋根・二階に垂直避難で2350人救出
ハザードマップ通りの浸水。高低差のない小田川の流域変更、合流点の緊急治水工事を実施中
 - 野島断層・北淡震災記念公園(田中(晃))
兵庫県南部地震で露出した主断層140mと副断層を建物内に保存。地面の変位状況がわかる
修学旅行等で訪れるスポット。露出断層の様子、語り部、参考本や鯉江など学習材料が充実
淡路島北淡町では生き埋めとなった300人を午前中に救出。消防団や消防団OBが活躍した
 - 神戸市追悼セレモニー(片山 稲垣代読)
朝5時46分追悼式に参加、東灘区で亡くなった叔父・叔母に合掌。市役所展望階等を訪問
倉敷市真備町(吉備真備)が中国から囲碁の伝承地。アマチュア無線アンテナファーム発見
真備町に近い津津は祖母の実家、戦争中数か月を疎開。親族に有名なテニスの原田武一氏
 - 被害地方訪問で感じたこと(樋口)
小田川では難しい土木工事の本気度、断層の上に家、廃墟の淡路島観音等この目で確認できた
慰霊祭には若いスタッフや中高生が多数参加、次世代に継承する強い意志が見られた
震災体験フロアでは衝撃のビデオ上映があった。助けることも助かることもできなかったろう
- (感想・質問)
- 荻本: 西日本では毎年水害が起こっている。家のかさ上げが行われていないのが印象的だった
小林: 真備町には被害と復興を確かめたい。山北町では子どもも議会や副読本で災害伝承を(情報)
上原: Zoom会議は、これからの会の在り方の教訓に満ちている



<オンライン会議の総合評価>

鷺山副塾長の総括サポートで事前テストや当日直前テストを進めました。新しい会場での慣れない設営でいくつかの課題がクローズアップされました。次への取り組み課題が抽出でき、トライアルとしては概ね良かったと思います。



● 次回(第176回)案内 (会場参加+ZOOM参加)

- ・ 日時: 2020年7月31日(金) 14時45分~16時15分
- ・ 会場: 横浜市青少年育成センター 第1研修室
- ・ 話題: 「COVID-19第一波の教訓を生かして、今後の複合災害に備える」
- ・ 講師: 参議院議員 自見はなこ 先生 (厚生労働大臣政務官 医師)